

調布祭21

June. 4.5.6



電気通信大学

日立は
未来を創くる企業です



沖電気は 通信と情報の新鮮な世界を 開拓しております

通信機器部門

- 電話機 ●電話機附属設備 ●交換機
- 搬送電話装置 ●無線機

データ処理機器部門

- 電子計算機システム ●数値制御装置
- オンライン・リアルタイム用情報装置
- 伝送機器 ●入出力装置

計測機器部門

- 電波応用機器 ●測定器 ●音波応用機器
- テレメーター・システム

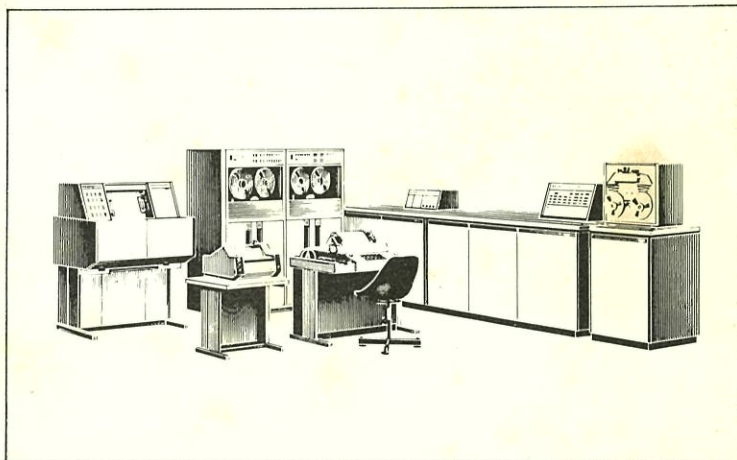
電子部品部門

- マグネトロン ●クライストロン ●トランジスタ
- ダイオード ●コンデンサ
- 各種リレー ●半導体集積回路

エレクトロニクスの
沖電気

◀▶ 沖電気工業株式会社

本店 東京都港区芝罘平町10 TEL(03)501-3111(代)



OKITAC 電子計算機システム

巻 頭 詩

— 真理の求婚者に捧げる —

友よ、知るがいい、きみたちは色青ざめて
愛と恐怖に満ちたまなざしで見やっている
いや 立ち去るがいい、怒らないでくれ、
ここにはきみたちは住めないのだ
このきわめて遠い氷と岩の国のなかには……
ここではひとは獵師で羚羊のようではなくてはならないのだ

わたしは邪悪な獵師になったのだ、一見よ、わたし弓が
なんと強く引きしぼられているかを、
これほどに引きしぼった者は最も強力な者だったのだ
だがいまはわざわいとなった、この矢はどんな矢にも
たぐいをみないほどに危険だ、ここから立ち去れ、
身を救うために……

きみたちは顔をそむけるのか？— おお心よ おまえは
あまたのことを耐え忍んだが
おまえの希望は弱まりはしなかった
新しい友のためにおまえの扉を開いておけ、
旧い友はすてておけ、思い出はすてておけ、
かっておまえは若かったのだ 今は一よりよい意味で若いのだ

柿本

***** 目 次 *****

3. オレの調布祭 実行委員長 山本哲男
6. 閉ざされた殺意を内にして
8. 拒絶の位置
9. 俺と調布祭
11. 見えない軸
12. 短大調布祭実行委員会アピール
15. 短大執行委員会アピール
17. 催物日程表
18. 悪いCAPTAIN'S LOADの歌(劇団こまば)
20. アベカオルトリオ
21. 浅川マキ
22. 劇団状況劇場
24. 講演
26. サークル企画
30. 案内図

オレの調布祭

実行委員長 山本哲男

確かに、ここには革命的な言辭もなければ統一された方針もないし、世界的な視野で見た所の日本帝国主義の現状と言った格調高い文章もない。そこにあるのは「オレ」と言う個人から見た世界であり、「オレ」のだどってきた足跡だけである。

普通は学園祭実行委員長ともなると「自己の内面への探求に乗り出た」とか「学園祭を革命的に解体せよ」とか、いわゆるカッコノイイ文章を書き、又「…変革の弓を腐朽せる巨像の肺腑に凶撃を」などのこれ又威勢のいいスローガンを掲げるものと決まっているらしい。

だがここに一人の「オロカ者」がいる。

彼の学園祭には統一した方針とてなく、スローガンすら考えてはいない。その企画はバラバラであり、まとまりがない。だが諸君それらはみなその「オロカ者」の性格そのものではないか。そして又彼はそうした自己を表現する場として学園祭を選んだのだ。学園祭を自らを表現する場として選んだ。一体全体、どこにそんな学園祭実行委員長がいろいろ。そして又、たとえそうであったとしても一体どこにプログラムにそんな事を書く者がいろいろ。当然学園祭を私物化しているとの批判もあろう。

まったく、あきれた「オロカ者」ではないか。だが、この電通大には「小利口さん」が多すぎる。右を見ても左を見ても、皆私は「小利口さん」ですと顔に書いてある。そして皆「オロカ者」にされまいと肩を張って生きている。そして「オロカ者」はこう居直るしかない。

「こんなオレだってなあ、体の中にや真紅の血が流れてんだぜ！」

・・・・・・・・・・・・・・・・

だが僕にとって本当に表現したかったのは共同性だった。それはカッコイイ言葉で言うならば「人間の本质は抽象的な個人の中にはない。それは共にある事の中に人間と人間との統一の中にある」（唯物史観と現代）だが僕は決して本を読んでから、ああ

共同性ってのは人間の本质なんだなあと感じたわけでは決してない。言語による認識なんて結局は人間の心の中まで深く染み込んでゆきっこない。僕にとって大切だと思えるのは、その人の意見や思想ではなく、その意見や思想を生み出した人間そのものだと思えるのだ。なんとなれば、本ばかり読んでいれば小利口さんになるだけさ。

それは、おと年の暮れに映画「ベトナム」を見た時であった。僕はその主役の笑顔の中に新鮮な感動を得た。初めて笑顔を見た様な感じがした。勿論、それまでも友人のテレビの映画の笑いを来て来たはずだが、それらは決して心の中から沸き上がってくる様な笑いではなかった。僕らは笑いさえも奪われているのだと言う事に啞然としたものだった。そしてその笑顔の根源はなんでであろうと問い返した時、ベトナムの社会の在り方こそが、それであると解った。つまり自分は社会の一員であり、又、社会のために役立っているのだと言う社会に対しての共同性意識こそが彼女の笑顔の基であり、そして又、人間の本质なのだと言えるのだ。

この人間の本质は共同性であると言う意識は良かれ悪しかれ僕の内面に深く根を下ろしてしまい、この方向へ試行錯誤してゆくことが僕の指針となった。

そして僕はその知り得たと思った「共同性」を探し求めて土方をやり、労働者と連帯したいと思った。だが、そこには土方達を分断する狡猾な親方とも絶えず不満を抱きながら親方から離れられない土方達のみじめな関係でしかなかった。土方達は暖かく迎えてくれたけれども僕は決して、彼達の世界に割り込むことができない自分を感じてしまった。

そして僕は、少くともまだ寮共同体が残っていると思えた寮に入った。そして寮に入った以上、寮共同体の中に組み込まれ、そして斗争に参加させられると期待もし、おそれもしていた。ところが、そこにあったのは怠惰な日常生活と「てめえの生活だけは、がっちり守る」と言った個人主義ばかりがまかり通り、寮共同体など、もはや幻想領域でさえ存在してはいなかった。現代に生きると言うどうしようもない時間性は「明るく生きよう」とか「生きがい

のある青春」なんてものをすべて否定してしまった。それらは、もうすでに否定されてしまっているのだと現代は僕に言うのだ。

確かに共同性には、その結合軸がある。結合軸なしでは絶対存在し得ない。実は、この事に共同性をめぐるすべての問題は集約されているのだと思う。共同性を設定するとは、つまり、結合軸をいかに取るかと言う事なのだ。

何故、共同性が人間の本性であり、又、何故その結合軸が幻想領域でしか設定し得ないのか、以下は僕が想像した、たわごとである。

「原始共産性社会、すべての生産力が共有であった時代、個と言うものはあまり意味を持たなかった様に思う共同体の意志があれば、それで事足りた。もちろん共同体は指導者としてシャーマンを持っていたが、彼らは単に共同体の意思を代弁したに過ぎない。確かに生活は苦しかったろうけれど、もっとも人間が人間らしく存在していたらと思う。こうして人類は類人猿から数万年、自らの共同性によって自らを他の動物と区別していった。そして共同性こそが人間の本質となっていったのだらうと思う。だが生産力が向上し生産力を一部の人間が私有できるようになるにつれ、個が分化してきたのだと思う。そして共同体が生きるための労働であったものが、個人が生きるための労働へと変っていった。この時から本来、社会的であった人間にとって一つの相克が始まったのだと思う。そして共同性は共同生産と言う根本的な結合軸を失った。そして個人主義が資本主義として整えられるにつれて共同性を保つための結合軸は無くなり、共同性は否定され替って単なる欲望で人々を結ぶきづなとなる組織に取って替られた。本来、社会的な人間の労働を、たゞ自分の金もうけのためにのみ働いているのだとしてそこからはみだした人間性を切り捨ててしまった。人間を非人間として扱う。僕はそこに資本主義に対しての憤りを感じる。

そして現代は生産力の方が個人を追い抜いてしまった。そして肥大化した生産力に追いつくために、再び共同性が必要とされている。それは、松下幸之

助の様に、ブルジョアの側からの会社運命共同体論と言った形での攻勢からも分る。ブルジョアジーは労働者を組織することを望むが労働者が自らの共同性に気づくのを恐れている。そして労働者の意識を上役→部下と言うピラミッド関係の中や、様々な差別の中の関係性に向け、自らの内の共同性に気付かないようにしている。そこにあるのは、上下関係の組織であって、共同性では決してない。人間は、ここでは部品としてあつかわれる。そして、それらの中では、人間は自己の本性から常に疎外されてゆかねばならない。だが人間は共同性を捨てることはできない。たとえ「オレは自分の欲望だけで生きているのだ」と言っている人でも、どこかでこの本性をまぎらわしている。それは、ある者には酒であり、女であり、趣味であったりする。それらは、その閉鎖性ゆえに、ささやかな共同性に対する幻想を伴い完全に満足しきることはないが、ある程度まぎらしてくれる。そして、いつのまにか主客転倒して、こんどは非人間的労働に耐え余暇に人間的な、それらをやることが健康な人間なのだと宣伝される。

それらは決して満足させる事はない。この様に、資本制社会では、もはや真の意味での共同性は存在し得ない。だが、生産そのものが社会的であるかぎり、人間の本質が共同性にあることに変わりはないだろうし今後の問題をすべて個人主義に帰ることで語り切ることはできないだろう。

そして、資本主義下で押えに押えられた共同性に対する欲求は現代の歴史を動かす一つの源動力となっていると思う。政治家にとってではなく、民衆にとっての社会主義への情熱は、往々にして共同性への欲求であったらうと思うし、戦前の天皇制国家主義は天皇制国体を一つの結合軸として民衆の資本主義に反対するものとしての共同体に対する欲求の現れであったと思う。その際、支配者がそれをどういう風に、こきたくなく利用し、自らの欲望のために利用したかと言うことはこの際関係ない。ただ民衆はこの共同体のために進んで死地に向かったと言うことである。そしてごく最近ならば、全共斗運動こそは、現状不満を軸とした一つの共同体であったらう

と思う。その中に集約された個人の生き生きした創造性。この体制の中で「個人の…個人の…」と言いつつ枯れつきよとしていた個が生き返っていった。すばらしいではないか。だが運動の中で、すべての関係が見えた時、必然的に政治を軸とした共同体へと発展していかざるを得なかった。そしてその共同性の持っていた大きな魅力のためにその周辺の多くの幻想共同性は運動の中に組み込まれていった。

以来、サークルはすたれてしまった。強烈な共同性の重みを体験した者にとって、サークルの幻想性はあまりにも偽善的に見えたのだ。だが、全共闘運動も、その政治性が機動隊の圧倒的力の前に崩壊すると共にその内部にあった「共同性と個人」の問題が露呈していった。一つの共同性一組織の元では個人の持つ個性や生活は、その共同体の持つ内容に同期させられざるを得ない。そして「てめえか共同体か？」と問われた時、多くの人々が離れていった。

そして「人は結局、てめえが可愛いのだ」と言う論理がでてくるだろう。確かに、人は個人的にしか考えられないだろう。だが人々は決して共同性への指向を捨てきれないだろう。人間とは、そんな矛盾いた存在なのだと言う意識が僕にはある。

もう一度繰り返すが、僕は政治的な人間ではない。僕にとっては、その人の政治性よりもその人の内面に、セクトよりもその構成員の情念の方が、国家よりも民衆の方が、そして歴史の中に登場する英雄よ

りも、名もない民衆の心の方がより僕の心を引くのである。

そして一人の「オロカ者」はその共同性の実現の場として調布祭を選んだのだ。だが彼には決定的に欠けているものがあつた。それは一体何を結合軸とするかと言う事である。この要求に答えるには、あまりにもオロカ過ぎた。幻想としての大学が崩壊して、当然調布祭もすでに崩壊している事を認めつつ、またも「お祭」の中に結合軸を見い出す事などできなかった。そして全斗委と言う結合軸を失ない個に分解した僕達にとって、いかなる結合軸も設定できないことは「小利口さん」なら、すぐわかったはずであろう。だがオレは決して共同性を求めて行く事をやめない。どうせオレは生きることのヘタな「オロカ者」なのだ！

.....

オイ、そんな目で見ないでくれよ。そうさ「オロカ者」だとこんな所で言い得る事自体、一つの甘えだつて事は、オレにもわかっているよ。そして調布祭自体が、オレの破算である事も。だけど僕は、たとえそれが不可能だつて事はわかっていてもできるだけ自分をさらけ出して生きていきたいと思つていた。調布祭は、その一つの総括だと思つている。

[夕日が海に沈む、真紅な色だ。

それは血のしたたかりに違いない。]

KaijoDenki

つねに未開の分野に挑戦する.....

未解決の問題があればそれをテーマとして選びたい！

20 数年の輝やかなしい挑戦の歴史につねに新しい1頁を書き加える —
わたくしたちの目標はいつも、はるかな未来に、そしてそこでの技術の
開花に向けられています

超音波機器の総合メーカー



海上電機株式会社

本社 東京都千代田区神田錦町 1-19

現在、私の関係性が視えないということは、個性と共同性をつなぐ媒介項が視えないということだ。そしてこのことに執着するのは、別れた女とよりを戻すように、かつて形成した確かな共同性を再び手元に引き寄せたいがためではない。そのような帰帰する小宇宙は、すでに喪われてしまっている。

自己の体験からしか自己の未来は語り得ず、政治に執着する中からしか共同性が視えてこないとするならば、私はあくまでも政治に固執する。自己を歴史性の中で位置づけたいという思いは、例えロマンであるにしろ、自己史の中に貫ぬかせたい。そのため生きるのではないにしろ、その思いが生活過程で絶えず浸食されるものであるにしろ、そしてその一貫性が何ら誇示するものでないにしろだ。これは政治をやらなくても生きて行けるという自信に裏うちされたものである。

政治的体験は、個に与える関係の密度の残影として反すうされ、またそれは共同体的契機を及んでのみ成立する。であるが故に、私の思いがロマンを突き破るためには、どのようなものであれ、すべての

「密室」を破壊する必要がある。だが政治というものは「密室」を形成する事によってしか成り立たないのであろうか？ここに政治の巨大なパラドクスがあるのだろうか？この問いに対して、必要悪などと居直ってる者達がどのような惨状にあるか、とっくの昔に知っている。またこの問いに対して、ある誠実さをもって回答しようとしている者達が、どのように悪戦苦闘しているのかも知っている。そしてこの問いがまだ深刻な様相で暗く重く沈滞し、闇の中をただよっている。世界を虚妄と視たい者は、また「密室」がなければ生きられない者は、オリの中の二十日鼠のように永遠の自己回転をするがよい。我々は個の想像力と世界の超越性との相関性の中で生きている。政治の持っている背理を見すえた地点で、なお政治に執着し、私は新たな関係性へ向って速く船出する。

すべてが新しく始められなければならないが故に、誰もが石で打たれなければならない。そして我々もはや転向、非転向の存在しない世界にまで来ているのだ。 了

情報産業の一翼を担う高性能富士磁気テープ

営業品目

視聴教育用 V T R
語学用サウンドテープ

プロ用音楽テープ
各種電子部品

自慢の微粒子磁性体
誇る電気的特性

富士フィルム代理店
富士オーデオ株式会社
東洋エレクトロニクス株式会社
世田谷区若林 1 - 8 - 3 1
TEL (03) 413-7231 (代表)

拒絶の位置

畦田文博

ひとつの秩序から離陸し、階級斗争にはせわたる時、離陸しながら我々が共同性の核心に到達し得ない時には、自己をアナキかニヒルかロマンの形でしか自己表出の場を見い出せない。秩序を拒絶しつつも秩序に足をつけざるを得ない魂は、それらの形でしか自己表現できぬことの恐ろしさ、しかしまた、それをかいくぐることなしには、現実を止揚できぬ厳しさを我々は知っている。

我々人間存在は、個人であり、家族であり、社会であったりしながら存在している。この中で現実からの桎 からの解放を願うならば共同幻想からの解放なしには実現しないだろう。そうであるなら共同幻想を自己の中で意識的に分解し、組立て、操作するほかに方法は無い。

では<個人>はどのようなものとして<社会>の共同性の一員であるのか。厳密に言えば、<個人>の心的な世界は、<社会>の心的な共同性(共同幻想)とどのように関係づけられるかが問題となる。<社会>の心的な共同性は、現在では<国家>とか<法律>とかいう形であらわれている。古代では、共同の宗教とか共同の習慣とか習俗とか、共同の約束とかがその小さな社会の共同の心として存在して

いる。ある<個人>の心的な世界にとって、この<社会>の心的な共同性は、まったく快適のものと思われるかもしれないし、またある別の<個人>の心的な世界にとっては、桎 以外の何ものでもないとして映っているかもしれない。この関係は考えられる限り様々でありうる。こう考えてゆくと、この<社会>の心的な共同性は、<個人>の心的な世界がそれぞれ違っていると同一ように、違ったものとして受けとられる様かはないようにみえる。しかし、この場合、本質的なことはただひとつである。<個人>の心的な世界がこの<社会>の心的な共同性に向かう時は、あたかも心的な世界が現実的なもので具体的に日常生活している自分は架空のものだという逆立によってしか、<社会>の心的な共同性に向かうことができないということである。換言すれば、<個人>は自分が存在している仕方を<逆立>させることによってしか、<社会>の心的な共同性に参加することができないということである。この<逆立>という意味は単に心的な世界を実在するかのように行使し、身体はただ抽象的な身体一般であるかのように行使するというばかりではなく、人間存在としても桎 や抑圧や矛盾や虚偽としてしか<社会>の共同性に参加することはできないことを意味している。家族という共同性は、自己幻想-共同幻想と別個の、男-女の対となった幻想の共同性である。

Miyazaki

ビル共聴,ビル陰共聴,ホーム共聴に

ミヤザキ

CATV機材



宮崎電線工業株式会社

本社・工場 東京都大田区大森南1-17-16 TEL (744) 2511代
会津若松工場 会津若松市門田町大字面川字館堀 TEL (2) 5895代
営業所 仙台・会津若松・高崎・東京・名古屋・大阪・福岡

人間と人間の存在の関係が形づくる幻想と現実社会の総体にわたる人間の存在について若干ではあるが述べた。

しかし我々が今、遭遇している困難な問題は、この個的生活—社会の円環構造の中で、自己と社会—世界の関係を貫く関係そのものとして存在する我々の生の実存の根拠としてのエネルギーへ指示回線を与えることである。しかし、ひとつの創り上げた運動—局面が、再び個に還元された形でもって、のしかかってくる時、自然性としての<生活>も<観念>も我々のエネルギーが現存性—感のふくらみ、持続へ転化するのではなく、風化—解体にさらされることによっていることが我々に指向線を所有する困難性をもたらしている。

この状況の中で言えることは、個的な概念そのものが、共同性の中でしか成立しえないし、ひとつの共同的運動というものが必ず個的なものを内包するような生命力をもたない限り、我々の総体の生命力をももたなくなっている、ということだ。



俺と調布祭

今回の調布祭には基本方針，テーマなるものがない。俺はこの無方針の調布祭に実行委員として関わり，無方針の方針にむなしさを感じ，また一方で現在の電通大の状態，社会状況，自己の悲惨なる人格を垣間見たような気がする。

そもそも俺は何故に調布祭に関わっているのか。それは，一口に言って自己の究極理想の実現のためである。今の俺にはそこまでしか言えない。自己の究極の理想の姿を見ているわけではない。究極の理想があるという幻想に取りつかれているのだと言われても否定はできない。しかし，少なくとも俺と調布祭との関係が俺の人生のためになるものでなくてはならないであろうし，俺との関係が疎になり始める時は，それが俺の人生のためにならない方向へ向かい始めている時である。

人は誰でもよりよき生活に対する憧憬を持っている。そして，色彩に乏しく変化に乏しく，充実を欠き徹底を欠き，平凡で散漫で多苦で煩わしい現実の生活，社会を超越してよりよく生きんとするために現実の生活からの超越を宗教に求め，他人に対する奉仕を求め，生の表現の活動に求め，現実世界における活動に求める。これらは，人生全体の意義と理想とに参加し，究極理想の実現に貢献する程度に従って価値を獲得するのである。

この点に至って，社会と自己とを対立させて考え

日本電信電話公社指定工場

電話交換機用各種ランプ
通信機用各種信号ランプ
通信機用各種抵抗ランプ

特殊ネオンランプ
瓦斯封入管

日本通信光管株式会社

●本社工場 東京都渋谷区代々木5-43
TEL (466) 0201(代)

●長野工場 長野県諏訪市清水町3756
TEL (スワ) 2136(代)

●福井工場 福井県吉田郡永平町鳴鹿
TEL (志比局) 186

るのは無意味であるか。人はもとよりいかにしても社会からのがれることはできない。しかし、人の努力は社会の全面に広がろうとする方向と、自己の一点に凝集せんとする方向とをとることができる。二つの努力ともある程度までは有効である。ゆえに自己と社会を対立させることは決して無意味ではない。

いかにして、自己の「道」を発見するのか、いかにして自己の内面に一つの世界を建設するのか、いかにして「道」の実現に堪えるまでに自己を鍛練するのか — これらの問題に対して決定的に意義を持つものは、ただ自己のみである。純粹に自己のみである。社会と環境とは、色々な意味においてこの努力と干渉し合う。自己はまず社会と世界から、豊富な材料を吸収しなければならない。これを整理する方針にしても、先覚の教えに依るところが多いが先覚の教えは器から器へ水を移すようにして与えられるはない。すべてこれらを決定するのは、自己の一心である。この点において、自己は社会と世界とから超越して天地の間に寥然として、たゞひとり存在する。自己に対する社会の権威を黙認する者は、意志の自律という大切な自覚を忘れた者である。

社会は、自己実現の場である。人は、自己の中に溢れるあるものを感じる時、社会に働きかけずにはいられない。自己以外のものに対して、愛を感じる時、社会の中に動き出さずにはいられない。自己の中に、成熟することを感じる時、これを社会に与えずにはいられない。自己の周囲に戦慄すべき罪悪を見、自己に戦いに堪える力のあることを感じる時、

これと戦わずにはいられない。いずれにしても、自己の実現は、社会に働きかけるのでなければ、完成しない。

自己をよくしようとする者は、努力の焦点を自己の内面に置かなければならない。経験の蓄積の内化と、人格の精練と強化と、これらのことを外にして徹底的に自己をよりよくする道は、どこにもないのである。社会をよくすることや、他人をよくせんとする努力は、確かに自己をよくすることにつながる。しかし、自己をよくするためには、まず、社会や他人をよくしなければならぬということは、他人に薬を飲ませて、自己の病気を直そうとする愚に等しい。

俺は、他人のために、社会をよりよくするために調布祭に関わるのではない。前述したように、俺自身の究極理想の実現のために関わる。調布祭を自己の実現の場として、自己表現の場として、自己の究極理想実現へのステップとして、すぐれて自律的に関わっていく。「道」の実現に堪えるまで、自己を鍛練する場として、俺の本質を真正に生かす場として、俺の人生の表現の場として、究めて野心的に関わっていく。もとより、何をやるのかは問題ではない。何をやるにしても、たとえ、それがたゞムスケルに終わろうとも、決して、社会、周囲からの強制への服従としてではなく、俺は俺の意志で、俺の道を進む。

俺は無方針の調布祭にこのように関わる。そして人生のすべての行動においてそうでありたい。

共立出版

東京都文京区小日向4-6-19
電話東京(947) 2511

森 宗正著……… B 6・950円
電子計算機のハードウェア入門
タイムシェアリング
システム設計概論 I
菊池・佐々木著……… A 5・950円

宮内儀三郎著……… A 5・800円
電子計算機フローチャート概論
国井利泰監修……… A 5・850円
数値計算とプログラミング
森口・小林著……… B 6・600円
FORTRAN

FORTRAN入門
刀根・恒川著……… A 5・850円
電子計算機
小郷・沢栗著……… A 5・450円
論理代数と論理回路演習

電子計算機のための数学 II
岩田倫典訳……… B 6・780円
アルゴリズムによる初等関数
和田 弘訳……… A 5・1200円
電子計算機入門としての

電子計算機のための数学 I
岩田倫典訳……… B 6・780円
電子計算機のための数学 II
岩田倫典訳……… B 6・580円

電子計算機のための数学 I
岩田倫典訳……… B 6・780円
電子計算機のための数学 II
岩田倫典訳……… B 6・580円

電子計算機のための数学 I
岩田倫典訳……… B 6・780円
電子計算機のための数学 II
岩田倫典訳……… B 6・580円

電子計算機のための数学 I
岩田倫典訳……… B 6・780円
電子計算機のための数学 II
岩田倫典訳……… B 6・580円

電子計算機のための数学 I
岩田倫典訳……… B 6・780円
電子計算機のための数学 II
岩田倫典訳……… B 6・580円

電子計算機のための数学 I
岩田倫典訳……… B 6・780円
電子計算機のための数学 II
岩田倫典訳……… B 6・580円

電子計算機のための数学 I
岩田倫典訳……… B 6・780円
電子計算機のための数学 II
岩田倫典訳……… B 6・580円

電子計算機のための数学 I
岩田倫典訳……… B 6・780円
電子計算機のための数学 II
岩田倫典訳……… B 6・580円

情報と予測

森田 清著 情報に関しての数量的な扱いとデータ伝送におけるコード化の問題および予測の技術を詳細に解説。… A 5・2500円

見えない軸

時は流れ、うつろい行くものは去った。垣間見た、人間解放への“うねり”は新たな対権力関係を、模索し、人間の全体性回復へと、その胎動は、広がり行く。沈殿の如くに。あるものは静かに、あるものは渦をまきつつ、人類史は悶々と時空を刻む。

人がある行為の中に、何ものかを、見い出そうとする時、行為する時、その存在を赤裸々にする。定かでない、把えきれない、自己を定位しようとする。自然から、集団から規定されつつ自己を、欲求を、行為の中に対象化し、自然へ、集団＝類へ、自己を体现する。諸々の関係性の中に、自己を相対化させる、相互関係性＝類の中に在る。個に接近しようとする時、類としての共同性に、接近しようとする時、その点から検証するし、出発する。これは、我々が到達した保塁であり、確固たる人間性の所以である。

今、我々が、あるものに係わりようとする時、我々が志向するものは、個的であると同時に、共同的な行為であり、その発現様式である。我々の在るべき姿は、そうであったはずだ。しかし、全共闘運動のめざした“個的＝共同的”行為の、現在の展開は、その軸は、不可視の世界への、係わりは、今、見えないのだ。我々が困難な課題に、とりくもうとする時、その時は、その解決は、既に在るか、出来はじ

めている時しか在りえない、巨大な歴史の、ダイナニズムが、厳然と横たわっているからだ。

私達は、いばらの道を、ほのかに揺れる炎の如く、うつろう。この怨念を秘めて、行く。けっして、消えはしない。

私達は、再度、何度でも、不可視の炎の地平に、大地に、はいつくばり、そして、へどをはき生きる。

現在、個的＝共同的行為の流れは、辱かしげもなく囲いこむ、不毛な“既成の政治運動”よりいって個的な、日常性の中に、出口なしの、苦悶の中に、再度把えかえされようとしている。対象化しえない暗の中を。孤独なうつろいと同居して。

この重き情況に於いて、成しうることは、何か。晴れがましい“おしゃべり批評”は御免だ。啓蒙連帯主義など、クソツ喰え。理念などという、大義名分が何になる。おれ達の生きて来た、20数年の自己史の中で、その実存と、意識力によって、このハダで、この血で知っている。一切の虚構を撃て！怨念よ燃えよ！炎よ、焼きつくせ、私の虚構なる習慣性を、怠惰を燃やせ！

不可視の軸は、“怨念”だ。このハダだ。群衆の血だ。この怨念が、ハダが、血が、我々にとって本質的な現われであり、赤裸々な、何ものかであることが、私達にとって、追求めてやまない問題なのだ。

おこがましい戯事は拒否せよ！

エレクトロニクスで活躍する

アンカツ

安立電気株式会社

本社 東京都港区南麻布4丁目12番20号 電話 東京(03)446-1111(大代)
支店 大阪市淀川区中津本通1丁目2番地(ホーコクビル3階)電話 大阪(06)372-0521(代)
営業所・出張所 札幌・仙台・名古屋・長崎・戸畑・福岡

— 主要営業品目 —

有線通信機器
無線通信機器
電子応用機器
工業用計測機器
自動販売機器
計測器

短大調布祭実行委員会アピール

第20回調布祭「基本方針」批判

— 征服せよ，高人たちよ，小さい徳を，小さい賢しらを，砂粒のような斟酌を，蟻どものうごめきを，あわれむべき安穩を，「最大多数の最大幸福」を。 —

(ニーチェ)

序

まさしく一世代を風靡したかの全共闘を表看板として斗かわれた60年代後半の学園斗争において、従来の大学の幻想性、つまり大学の自治、学問の自由等が、自己否定運動をスプリングボードとして、安易な理念を基盤とした幻想の否定されるべき具現体と暴露、告発、糾弾されて来たにもかかわらず、ジュラルミンの楯の上を「大学正常化」が突走る今日の状況が現出しているのはいかなるためであろうか。そして又、その「大学正常化」をてことして、「平和と民主主義」をスローガンに、「統一と団結」を訴え、「民主化」路線をかかげて動き回る恥知らずな徒党を浮上せしめるかのごとき状況をいかに受けとめるか。前年に引つづき、この破廉恥な状況の下大学祭をむかえるに当ってよりいっそうラジカルに我々の立場性を確立せねばならない。前回の調布祭において提出された基本方針において、日影の下、萌芽的にその思想性が問われているので、それを開花させるべく以下を論じて行くことにしよう。

調布祭の低迷……民主主義

電通大における大学祭＝調布祭が過去20回にもおよぶ「歴史」をひきずりながら、今日的な低迷状況をむかえているのはなぜであろうか。過去いくたびもその「方針」「理念」をうちたてながら、そしてまた60年代後半の学園斗争、安保、大学立法等をにないながら、なおかつ今日、この低沈落なのである。調布祭の一つのピリオドとして、去年の才20回調布祭「基本方針」をみるならば、この調布祭の低迷は「科学技術の発展に基づく物質文明第一主義」

及び「ただ自己と社会との関係を考えるとき、その関係を関係として存立させ、持続させている条件を明らかにしなければならないにもかかわらず、それを怠っていたり、誤っていたため……」その結果、「民主主義の神話」を無批判に受け入れている」からであるとされている。そしてその民主主義は「人民の自然的、人間の本質から発する要求は全て議会を通る事を強制し、それを歪曲し、卑劣化することによって変革のエネルギー吸収分散させてしまう」のであり、そしてこのような「議会制民主主義」の「理念を基礎とするような方針をもつ大学祭は我々にとって明らかに階級的な敵であり、粉碎の対象である。」と「批判した」としている。まさしくこの「基本方針」が述べるごとく、民主主義の理念というものが、社会における自己解放の歩みを抑圧するものとしてしか、すでにとらえ得ないわけであるが、その原因を議会制にもとめる事で、こと足れりとしてしまい、その結果、「現代的に学生共同行為として存在する調布祭もすでに破産している。従って大学祭そのものが、我々学生総体にとって何ら意味も価値も持っていないのである」(傍点筆者)とうそぶかねばならなくなっている事を見過ごすわけにはいかない。今日、民主主義の虚構性というものが、左右を問わず問題にされている時代的背景にあって、ただやみくもに代議制民主主義を否定したところで、何物をも産み出せないばかりか、無意識的にしろ直接民主主義を自からに暗示し、社会と個との緊張関係の認識をただただ葬むりさってしまうばかりである。今日、民主主義の虚構性が、否定す

べき古典的存在概念（「国家一法」もしかり）を完全にうらづけている事を忘れ去ってはならない。いま、我々が問いかけねばならないのは、我々の意識下にアプリアリに存在する「民主主義」そのものなのである。

民主主義の虚構性……<全体>

「民主主義」が、近代ブルジョアジーの出現と時を同じくして出現し、資本主義体制をうらづける私有財産、自由競争より派生する労働の搾取、疎外、階級化を隠蔽し、補完するものとして存在している事はすでに承知の事実である。そしてその隠蔽し、補完する過程とは、社会一個の緊張関係をなくす虚像化過程そのものなのである。この社会一個の緊張関係をささえるものは、類的個としての基盤の上にたつ社会的個の自己解放性、つまり、個人の自由にほかならない。簡単に言えば、社会一個との緊張関係とは、個人の不自由—自由の緊張関係といえられる。つまり今日の民主主義とは、自由のなくす虚像化過程の実体そのものとして存在しているわけである。民主主義とはいわく、「最大多数の最大幸福」（ベンサム）であり、「一般意志への服従をこばむものを強制的に服従させることは全体の名によって課せられた義務である。これは単に人は自由であるよう強制されるということの意味している」（ルソー）（傍点筆者）なのであり、これらの概念より導き出される、完全なる相互侵透をたてまえとする多数決原理にほかならない。つまり民主主義とは個に対して全体を強要する方法論として存在しているのである。社会が全体化するにあたっての正当化理論として存在しているのである。社会=全体と定型化した概念しか持ちえない意識構造が、近代ブルジョアジー社会のわく外にはみ出し得ない我々に、すでに定着してしまっている事をふまえた上で、民主主義をとらえなければならない。

社会…<全体> or <総体>

はっきり言って、「基本方針」のいう、「現在の学生の共同体としての結合が破産しており、共同

行為として存在する調布祭もすでに破産している。従って大学祭そのものが我々学生総体にとって何らの意味も価値も持っていないのである」（傍点筆者）という事は、大学という社会、共同体において学生総体そのものがアプリアリに存在するものとする硬直した思想性の軽薄さを実証するものでしかない。「学生総体」というものは始めから存在していない。社会をとらえるにあたって、全体と総体の意味性を混同、とりちがえる事ほど致命的なことはない。全体と総体は敵対する。

<全体>というのは、部分=個の算術的な総和ではない。<全体>はすべての部分=個を超越する。<全体>下における部分=個は、もはや全体の構成部分ではありえない。<全体>と個とは次元のちがうものとして現われてくるのである。大豆を原料としたみそを一例として引出してみよう。みその塊をいくら小さくわけてみたところで、その一つ一つは決して大豆という豆粒ではなく、みそでしかありえない。つまり大豆の一粒一粒という個が、コウジとヒキウスによって、みそという一塊の全体へと質的な飛躍をとげるのである。もういくらか、明確になって来たであろう。ヒトラーのナチス、ムソリーニのファシスト、日本の天皇制に象徴される全体主義をもち出すまでもなく、過去の歴史に葬り去られたと思われる全体主義の毒芽は未だ我々の社会の民主主義という土壌の奥深くひそんでいるということである。

<全体>より<総体>へ

社会=全体の定型化した概念をのり越え、社会=総体、<全体>より<総体>へと我々の大学、はたまた市民社会、国家を導びくものを模索していく過程の方向性を何にもとめればよいか、それが今日的情況からぬけ出るまず最初の問題として我々につきつけられているのである。

ここで一度大きく、社会—国家の関係から民主主義、自由の問題をとらえてみよう。レーニンは「国家と革命」のなかで、自由、民主主義についてつぎのように述べている。

「ブルジョア国家は<死滅>するのではなくて、革命のうちでプロレタリアートによって<止揚>されるのである。この革命のあとでプロレタリア国家あるいは半国家は死滅するのである」、「国家が消滅するときには民主主義もまた消滅する」。また、「完全に徹底した民主主義は資本主義のもとでは不可能であり、社会主義のもとではどのような民主主義も死滅するだろう」、「国家が存在するあいだは、自由は存在しない。自由が存在するときには、国家は存在しないであろう」、「自由について語ることが可能となるやいなや、国家としての国家は存在しなくなる」

レーニンの「国家の消滅」とともに、「民主主義が死滅」すること、そして国家の死滅によって、はじめて「自由が存在する」という思想は、マルクス主義の階級理論に基づいている。すなわち「国家は階級的対立の非和解性の産物」であるから、階級対立がなくなれば、必然的に階級的な、そして全体としての国家-社会はなくなり、国家がなくなれば社会一個の緊張関係はなくなる。つまりそうなってはじめて人間一個はその自由、自己解放性を獲得するというのである。ここにおいてレーニンが、「民主主義は死滅する」という意味は、社会主義のもとで民主主義が「完全に徹底した」とき、あたかも民主主義が人間における空気のごとくあたりまえの事となるというつもりであろうか。あるいはまた、「ブルジョア国家は<死滅>するのではなくて……<止

揚>されるのである」、つまり民主主義も<止揚>されるのであろうか。

これまでも明らかにして来たように、民主主義は当然、否定、止揚せねばならないものとして我々の前にあるのである。社会-全体から社会-総体、全体より総体への過程は、すでに階級斗争によってうらづけられつつ、我々の眼前に浮上しているのである。あの血みどろの三里塚斗争も、沖縄における闘いにも、その視点ははっきりと見い出せるのである。全体への反逆という形で。

<総体>としての大学

ここにいたって再び、我々の大学を見つめてみると、どうであろうか。いかに大学解体、学園斗争をめざそうとも、いかに街頭斗争をめざそうとも、その民主主義にささえられた学友会-自治会-執行部をスプリングボードとしている限り、その行く先はその目的性とはうらはらなものとなる事は必然である。道はただ一つ、いまの我々の立場性を、全存在をかけて否定することである。再び全てに“否”と言え。

一われわれの説く真理に触れていただけるようなものは、みなくだけるがよい……まだ建てるべき多くの家があるのだー

(ニーチェ)

(筆 人民主権研究会)



モダンジャズから
クラシックまで
(有)トキワレコード

本店・調布駅前通り緑屋前 TEL (82) 8047

楽器・楽譜専門店

(有)トキワレコード 楽器部

支店・調布駅前天神通り TEL (86) 0427

短大執行委員会 アピール

この第21回調布祭を迎えるにあたって、短大友会執行委員会からの若干のアピールを、特に短大の全ての学友は聞いていただきたい。

今回の調布祭を有意義に成功させるため、短大実行委員長の出場なき現実を認識した短大友会執行委員会は、やむなく実行委員会の業務を“発展的解消”的に代行していくことにしました。しかし、短大の全ての学友はその現実をどう見ているのか？はたして、実行委員長の主体的なる出場がなかったということは、われわれの学友会運動の展開の困難さかもしれない。が、われわれの立場というものは、昨年6月安保決戦においてわが学友会運動の破壊を目論んだ日本共産党民青の諸君を糾弾していったように、学友会運動の再建を目指すのでなければならぬ。たしかに、うようよいた民青諸君は、完全に学友会運動を放棄し、選挙のための票集め運動さえしなくなった。しかしわれわれの立場は、学友会運動破壊を目論んだ民青諸君の策動を粉碎するものだけにとどまらない。民青諸君の策動を粉碎する過程は、それがそのまま学友会運動再建の過程であり、学友会運動を志向するならば、それを放棄した民青諸君にはいまだに問題があるが、それと同時に、民青諸君と仲の良いところの支配者＝権力との対決をわれわれは最前面に見定めなければならない。

われわれは、学友会運動再建の過程で、まさしく、日本帝国主義のアジア再侵略を阻止する学友会運動を、という確固たる方針のもとに登場しているのであり、現実の具体的問題を一つ一つ考える中で“日本帝国主義のアジア再侵略”を問題にしているのである。

それでは、この調布祭短大実行委員長の現実を、わが執行委員会が、学友会運動の革命的推進を目指す立場から考えた上で、いかに調布祭を志向するか提起しよう。

そもそも学友会運動の観点から調布祭の方法論とは？ここでは結論的にしか言わないが、それは、

学友会運動の発展のためという一面的なものでは決してなく、自己解放性を内包した、帝国主義の全体性を否定する、われわれ自身の総体性＝全人間性の奪還のためのものである。その方法論の問題性とは、けだし、自己解放性であるからである。

帝国主義による民族・植民地問題と民族解放闘争も、現実的な出入国管理体制の問題、劉道昌(リャオダウチャン)君に関する問題も、その方法論の問題性＝自己解放性の志向なきにするならば、革マル派の人間のように、わけのわからぬ事を行って喜んでいるものには無縁のものとなるのである。一部の学友が、あたかも調布祭を自己と無縁なものと思うようにである。しかしわれわれの立場はそうではない。われわれの立場は、すでに明らかになっているように日本帝国主義のアジア再侵略を絶対に阻止するものであり、問題は方法論である。

その“方法論”とは、調布祭の意義を、アジア再侵略を阻止するための闘いに利用することに転化するという単純なことではなく、それが“自己解放性を志向する”ことを問題にすべきゆえのものである。ということである。(劉道昌君を見よ！)まさしく、「同志的友情は、客観的歴史の歩みに他ならない」(梯明秀)のである。

われわれは、この第21回調布祭を、第20回調布祭からの後退、いや昨年6月安保決戦からの後退としてやっていくことは拒否しなければならない。



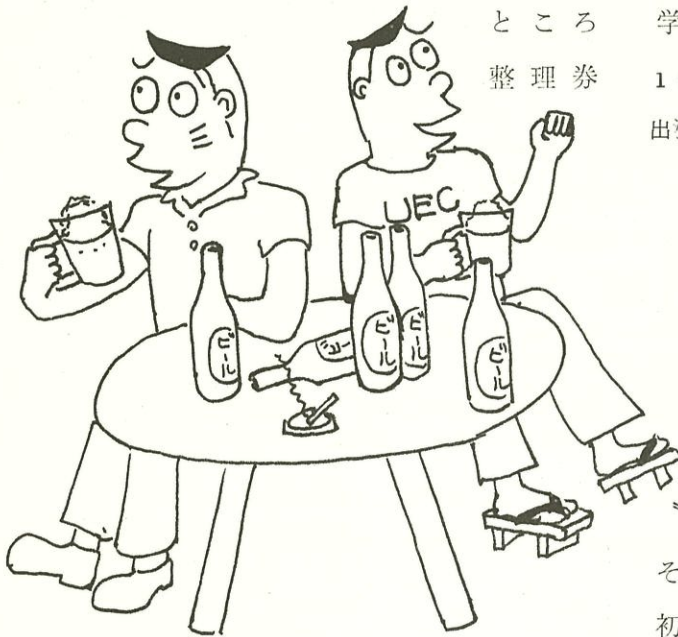
Garden Party

と き 6月4日(日) P.M. 3:00~

と ころ 学館前芝生

整 理 券 100円(ビール1本とおつまみ)

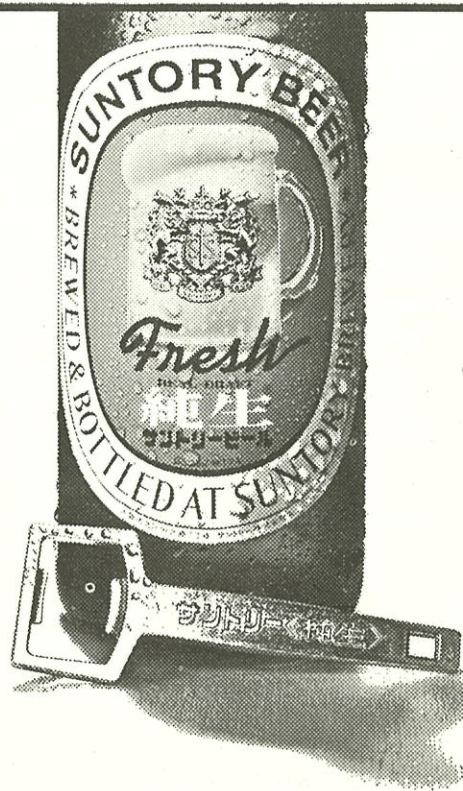
出演:ブルースバンド



「盃をもて、さあ卓をたたけ……」
 そんな豪快な気分で大いに飲もう。
 初夏の澄みわたった空の下、教授も
 先輩も後輩もみんな一体となって!!

ビールは新鮮なほどうまい。この
 真理を、あなたののどで確かめて
 ください。熱を加えずマイクロフイ
 ルターで磨いた、あの《純生》だけ
 の澄みきったうまさを、工場から
 酒屋さんへコンピュータシステム
 で急送。いつでも飲み干しても
 フレッシュそのものです。これこ
 そがビール本来の味!

サントリー
《純生》[®]



「出来たてビール」と
 「うまいビール」は同義語。

催物日程表

6月4日 13:00～竹中芳氏講演…転向論(於 M109)

神津陽氏講演(共産同)(於 M109)

14:00～劇団こまば公演

6月5日 12:00～13:30 グリークラブ公演(於学生会館)

14:30～17:00 劇団こまば公演

16:00～18:00 才10回調布祭ラリー開会式(於 B202)

17:00～22:00 浅川マキ公演

アベカオル・トリオ(於学生会館)

6月6日 7:00～8:30 才10回調布祭ラリースタート

13:00～村上一郎氏講演…吉本隆明論(於 M109)

15:00～18:00 ガーデン・パーティー(於学館前芝生)

19:00～22:00 劇団状況劇場公演



悪い CAPTAIN'S LORD の歌

“ キャプテン・エイハブの演説 ”

◀ 正門前のテーブル№4 ▶

情報を蒔きながら「そうら地面に熱もだぜ」「重力足る少年は、出て来いっ」
「ニオ以下の児は皆殺しだっ」「宣伝はしないっ直行する軍隊だっ」助産婦に
なりたがる物品売買圏の男を却下するっ「女は吠え続けるに違いない。不義の
前になっ」発展はフン詰ったっその初めての予想は正確に炎上している。いつ
くら働いても貧しいっ発展は退屈だっへっ、そんな図式がどうした。街路数式
にも死の単価はある。事物の殺し屋・ハイウェイラツバ管だがキイン二本立て

の甲板ステージ人→
上る筋肉の四人の
ンを求めて集まっ
を命じたのは私だ。
が売れ残ってるっ」
るっバルコンのダ
ないかっ」「俺の
行人達が泣き叫ん
子供達を呼んでら

劇団駒場

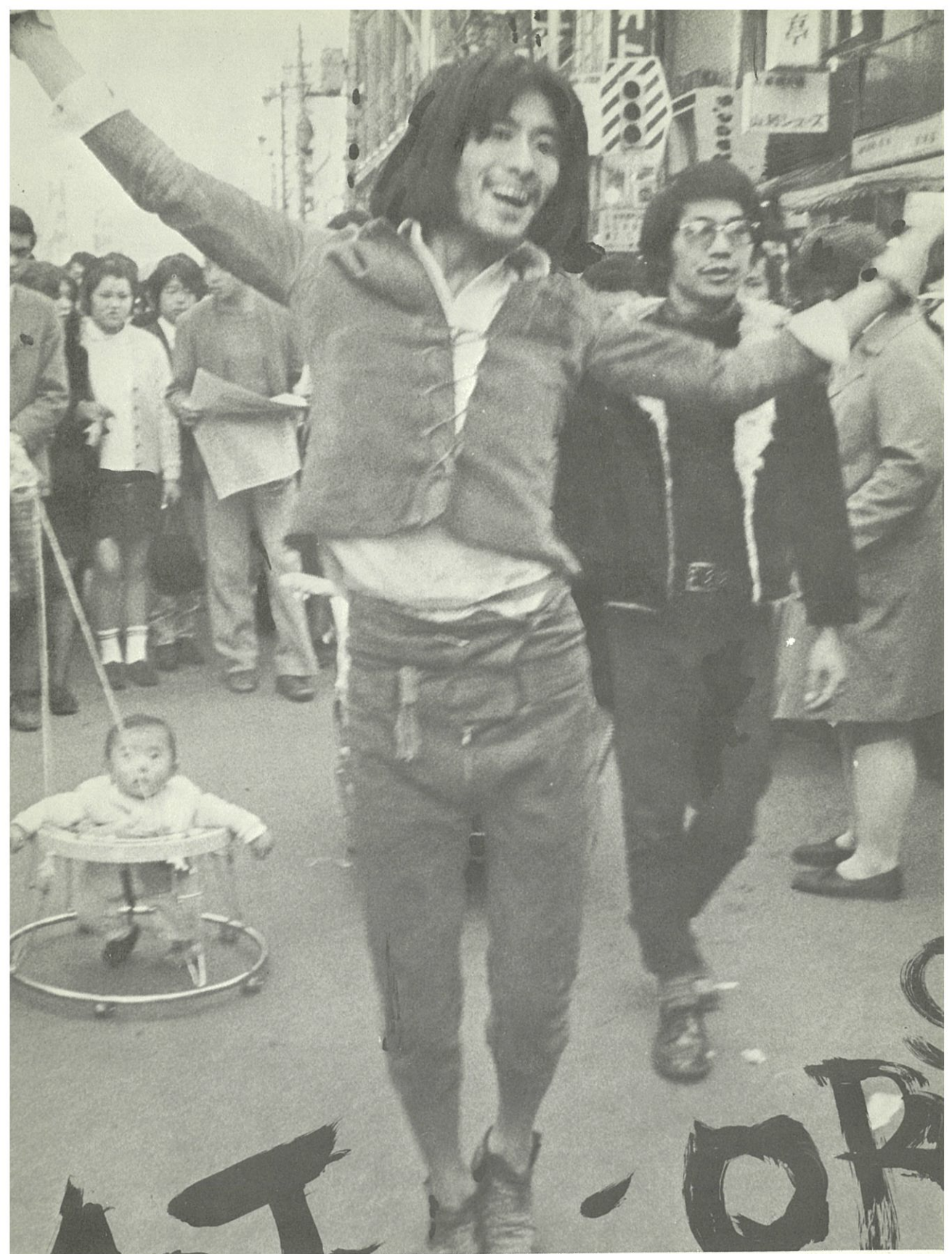
CAPITAL'S

COMMUNE!

形態都市

→称をかみ尽し盛り
市民テーゼにサイ
て来た群集に発砲
「一億以上の人間
「死にも階級はあ
ンス」もう男はい
身体を撫でつつ通
ている」「愚図る
あっ」「冗談の多

い制服が人道主義を教えに素足で突っ込んで来るっ」「いいか。局部を餌に女
供は金がかつさらって走れっ」「退くなっ」「終いには空気に快樂を見出し
て」「日赤の産院から姓 が便秘で 任して、男は要らなくなるにちげえねえ
っ」「それはそうですね」監禁のテクニツクだがっ建物も市場も屋上もエレヴ
エーターもすべり出した物々は体力を貫通して人間を据え置きつづけているっ」
「脳髄は不気嫌だぞおまえ等っ」「少し美辞麗句や思わせ振りのイツピイ暴力
は止めだ。空の油絵っ」「完成のためだっ」「ほうらねっやっぱりそうだな」
「胎児は幻想しないっ」「二十世紀もそろそろ終りだしたので出づっぱり気違い



4日正門前PM 2:30 5日学館PM 2:30



ARTS. パネル



ヨシガワモパル

BRSS



DRAMS

フジイコオ

ABE・KAOL・トリオ JAZZ

5日 PM 7:00 Completely Free

振り返れっオールフェイス供



爆風

ABE
尾
アムトオックス



遊戯・死

GAN
CHI



地
業
下

KOU
恍惚

浅川 マキ 公演

ゴピンダ

夜が明けたら

ジンハウス・ブルース

朝日の当る家

6/5

17:00 ~

於 学生会館

かもめ

ゴータウンモーゼ

ロング・グッドバイ

赤い橋

めくら花

レフト・アローン

花いちもんめ

アイム・オン・マイ・ウエイ

ちっちゃな時から

港の彼岸花



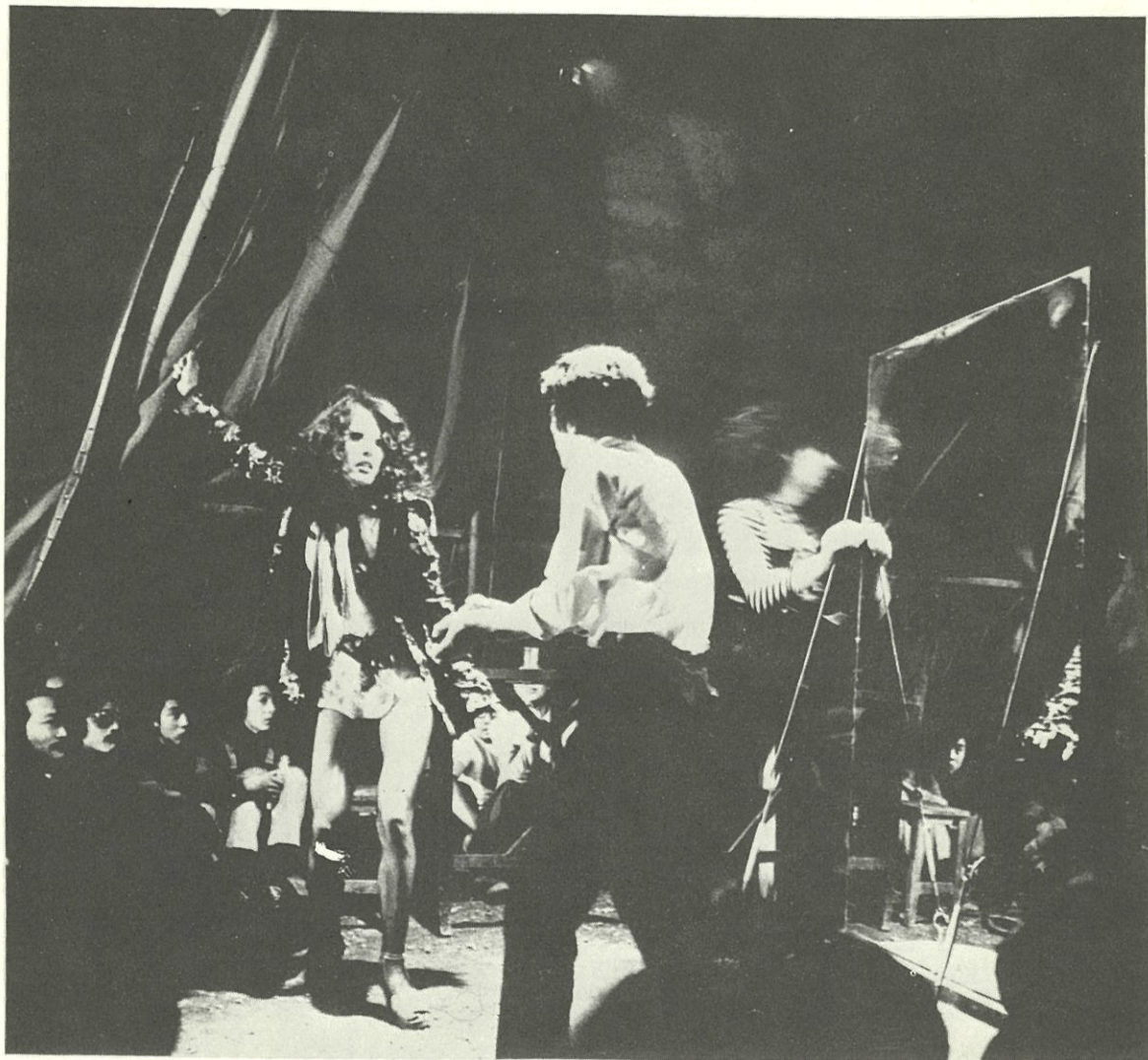
劇場状況団劇

特権的肉体はいつ、どこに現われようと唯一の背景を背負っているものである。例えば弁天湯の主とも呼ばれる男が湯舟からあがると、おとなしくしていた海のペンキ絵が彼と一緒に動き出し、午後三時の風呂屋が大洪水となるだろうし、ジェラール・フィリップ扮する「肉体の悪魔」がマルトの死んだ後に立つ場所は、絶対にパリの町のざわめきが押し寄せる鐘つき堂の下でなければならぬ。カトリクス・ドヌーブが小鼻をなでながら歩く後には必ず救急車がいなければならず、津島恵子が帰ってゆく場所は足摺岬でなければならぬ。アンドレ・ブルトンのナジャがもったいぶってブルトンをひきつれて行ったところは何てことはない、主人公抜きのあるいは主人公に駄賃をあげて隠れてもらったそんな背景の廻り燈籠であったのだ。

(唐十郎 新・特権的肉体論より)

吸血姫

作・演出 唐 十郎



撮影 井出情児

役者群

唐 十郎・李 礼仙・磨 赤児・大久保鷹・不破万作・四谷シモン
根津甚八・十貫寺梅軒・石原由紀子・他劇団員総出演

日 時

1971年6月6日(日)夜6時30分

銭 400円

講演

竹中労（評論家）

「転向論」6月4日 p.m 1:00(M109)

主催 文学研究会

“転向”の論理とは、すなわち、大衆追従の論理であり、「党が大衆と孤立する」恐怖、孤立したマイノリティに終る恐怖から進発した、マジョリティ願望にほかならぬのである。革命の戦略が、マジョリティの獲得に向かう時、当然、運動は穏健にならざるを得ない。“革命家”がよき家庭人となり、一個の人間としての情理をそなえた円満な人格を志向する矛盾——「愛される共産党」の錯覚は、戦後の野坂参三の発想をまつまでもなく、80年代“転向”が、すでに内包していたイメージなのである。

かくて、戦前左翼運動は、“転向者”たちの多くの部分を臣道実践、皇民厚生に日常性に埋没し、あるいは、右翼の“汎アジア革命”に同調させて大陸・南方におもむかせ、解体をとげた。一方、“非転向者”は、アメリカ解放軍による救出を、監獄の中で待つことになった……………。

神津陽（共産主義者同盟・版）

「何故、何に対して、どのように闘うのか」

6月4日 p.m 3:00(M109)

主催 社会科学研究会

69年秋の敗北の根は深い。67年10・8羽田闘争以降の「国際主義と暴力」を掲げた二年間の闘いの経験を総括し、70年代を我がものとするための作業における我々の戦線の側の不統一と、もたつきが、支配階級の攻勢を許しているのだということ深く胆に命じておかねばならない。

現下の支配階級の人民の側への政治的攻勢は6月に集中してかけられてきている。70年代階級闘争において、どの党派もが射程に入れている沖縄—入管法—叛軍—三里塚をめぐる新局面が、それである。だが、現在の支配階級の攻勢を感知し、資本—賃労働の客観的矛盾を了解しつつも、それらの認識と政

治的实践を為す者の間においても、世界的なソ連—中共—キューバ等の対抗、国際的新左翼潮流の不均質、日本における社共、革マル、八派+αの分岐が厳然と存しているのである。

現在、このような主体の側の、階級闘争を遂行し抜く側の分解、小市民層の動揺、膨大なノンセクト反政治グループの登場の根拠をも含めて「世界」の分析が要請されており、それは60年代までの路線決定における総括→情勢→戦略戦術といったワンセット方式、党—活動家集団—大衆組織という政治意識を基準にした組織構造は同一であり、議会主義と実力闘争という相補的対立で、新旧両左翼の分岐、党派闘争の様式そのものが、その基底の側から、転換を要求されていることを意味している。

日本の革命運動史についてみれば、明治後期のアナーボル対立—大正リベラリズム—日共の社民への優位—敗戦—日共分解—日本型社民—党神話の破綻—三派—八派の総過程の欠陥を、国際潮流の動向に従って路線変更をする、自らの根拠を有しない諸党派と、科学の客観性への憧憬を根拠に、象牙の塔にたてこもってきた学者知識層と、身にしみた長いものに巻かれるという処生術で自己防衛し、投票権行使で、組合、自治会、議会へ自らの「政治」への関わりを売り渡してきた庶民の間の相互関係が、党派の結果的独善と知識層の閉鎖性と、大衆が自ら政治を疎外する局面を産み、支配階級の、国民—民族のイデオロギー、社会意識を通しての結集策に、共同性の質として拮抗していず、実体的に敗北していった事として検討し直す事に他ならない。私達の考えでは、<革命をやる>ことと<階級を創る>ことの内的関連こそが問われており、そのことを軸にしてこそ、諸階層、諸党派の分解や、一国—世界の組織と運動のイデオロギー的の矛盾を解明し、方途が示しうらと思われる。つまり、いわゆる新左翼がレーニンの『何をなすべきか』に基いて個別闘争、経済闘争の狭さを、国家権力との関係から、全面的政治支配の分析から暴露し、政治闘争へ飛躍させるという旧来の方法に対してそれが何故、何に対して、どのように闘うのか、そこがスプリング・ボードだ。

村上一郎(評論家)

「吉本隆明論」

8月6日 p.m 1:00(M109)

主催 文学研究会

私は日本人のこころ、とりわけ、情念といったものに多く触れて来た。ナショナルなものの根といってもいいかもしれない。そして、私は、そうしたものが、容易に止揚できるとか、そのままにインターナショナルなものに成熟せしめることができるのかという考え方をとらなかった。それはあるべきインターナショナルな立場というもの、無国籍的なコスモポリタニズムと全く違うものであると信ごたいからである。プロレタリアートは、祖国を持たないと

ような言葉は、しばしば、気安く考えられすぎているとも思う。私たちの心身にわたかまる古い耐えがたいものと、新たにかちとるべき価値との間における激烈な闘いを、おのれの最も沈黙な魂魄の中で、敢て打ちまかせることなしに、私たちは、ナショナルなものの根を克服することはないと考えるのである。

映画

映画(M109) 6月4日~6日 3:00

アングラ・フィルムを数本上映する予定です。

寮生募集

学校強制あっせんによる、すしづめ下宿を大々しく出でよ。

我が電通大寮は諸君を歓迎する。

寮共同体を共に構築しよう!



アイデアと技術で答える (有)心翔スタッフ

広告企画・制作・調査
出版企画・印刷

企画部・・・商品開発・ネーミング・総合広告計画・

PR誌等出版企画

制作部・・・商品撮影・デザイン・コピー(文案)・

各種印刷・ラジオTVCM

調査部・・・各種マーケティングリサーチ・顧客リス

ト提供及び整理・DM代行

事業部・・・商品ディスプレイ・展示会・宣伝カー・

各種催事立案及び実施

学校文化部・・・学校新聞・校内誌・記念アルバム等

制作代行及び印刷

本社 新宿区新宿2-75 新宿ビル105号

〒160 TEL 03(354)3908 代表

支社 横浜市港北区日吉本町923

〒223 TEL 044(62)2083 代表

放送研究会

我々放送研究会は、発足して以来今年で5年を迎えようとしている。そしてまさに、調布祭によってその年輪を積もうとしているのである。いふなれば調布祭が放研にとってのお正月であろう。

我々は、ともすれば閉鎖的になりやすい我々放送研究会の活動を、より有効的かつ円滑に行う為に、サークル外部との結合による即応性によって、放研の体質評価と方向性を探索しようというのである。そこに我々放送研究会の調布祭に参加する意義をみつける事が出来るであろう。もちろん、それだけが調布祭参加の原動力に成り得た要因ではない。我々は「区分された過程の結晶」として調布祭というものを評価したい。年年歳歳、多種雑多人間が入り、人間が出て、放研というサークル内に新しい風を起す。そして、その風は、定時放送を中心とした日常活動という船の帆を広げるのである。そしてその船は、かすかに光る星の下で、果てもない大海を航行し続けるのであるが、それはやがて、ある固定した島によって、より定かな位置を知る事が出来るだろう。そこに調布祭というものの存在があるのである。

過去、斗う調布祭、混迷の調布祭そして放送研究会としての過程を踏んで来た今現在、我々は「岐路」に立たされていると言わなければならないだろう。それは既成の価値観をぶちこわした現在のにおいて、我々に迫られた問題がその選択にあるという事実からも明らかだろう。そしてその「岐路」からの出発こそが我々放送研究会のさしあたっての重要な課題であろう。

我々は今回の調布祭に参加する事が放送研究会の「新軌道」への離陸にらん事を願うものである。

〔内容〕

1. 過程の総括
2. サークル外部との結合

①6月4日(土) 10:00~17:00

サテライトスタジオを中心としたドラマ
録音構成、D.Jの発表会

②6月4日(土) 17:00~5日 10:00

サテライトスタジオを中心として部員の自由企画による発表

③6月5日(日) 10:00~6日 17:00

①と同形式による発表会

なお、M棟の教室内には、写真をはり、スライドも予定している。機関紙「ほうそう」を発行する。

工学研究部

〔内容〕

- 電卓：工研製作の電卓についての詳しい解説
— デジタル技術 —
- 心理試験：ソニーテストの結果を計算機処理によって出すプログラミング—
- パワーリングカウンターとVCOの実験のディスプレイ

工学研究部は電気通信関係ばかりやっていると誤解している人が多いようです。そこで、今回はその誤解をとくためにも、実験衝動診断学にもとずいて深層心理分析をコンピュータ処理技術によってここに実現させました。人間の運命は、その人の深層心理によって決まるとまで言われています。まずは、調布祭に来て、あなたの運命をためてみてはいかがですか。これは、単なる運命判断ではありません。科学的な立場から生まれた心理学の最先端です。ロールシャッハテストは、的中率75%と言われていますが、これは、心理学を長年学んで来た専門家による主観によるものを多分に、持っています。これは又、心理学者の多くは、間違いであるといわれる今日では、多分に危険性をもっています。それにくらべ、このソニーテストでは、すべて客観的に判断され、(これがコンピュータで処理できるゆえんであります) 気ちがいが気ちがいを作る危険性もなく、又、的中率は85%を誇り、子供からおばあちゃんまで、人種のいかに問わず、診断できる特徴をもっています。しかも、あなたは数枚の写真を選ぶだけでよいのです。あとはコンピュータが処理してくれます。ぜひ寄ってみてはいかがですか。次に、もうひとつの結晶を、紹介します。我々が電

卓を作ると決心してから、約一年、我々の全精力を傾けた汗の結晶です。そこには、あなたの考えている、いわゆる工研の姿があります。この2つを比べあなたの工研のイメージを変えてほしいのです。

体育会自動車部

＜第10回調布祭ラリー＞

開会式 5日 pm4:00~6:00 於201
スタート 6日 am7:00~8:00
ゴール pm3:00頃到着
閉会式 6日 pm5:00~8:00

自動車部の行事の一環として行なう違法競技で、各大学自動車部及び一般のオーナードライバー相互の親睦を深め、また交通規則遵守安全運転の啓蒙を計る目的で、調布祭に参加しました。

ラリーの面白味はと言うと、第一に学生の競技の中で、他のスポーツの様に、体力・練習量だけでは勝敗が決まらないということと、又、適当に頭も使い、車に関する総合的な知識もある程度は必要であること、又、常に自分との戦いであること、他のオートレースと違い、ゴールまでは自分自身を信ずるより他になく、それだけに勝利の喜びは大きいと思います。

本学の学生及び教職員の参加も歓迎します。

賞品もたくさんありますので、多数参加してください。

写真研究部

現在のサークルの状況の中で、精一杯に自分達の表現を展開してゆく。現在の写真研部としては統一テーマという形で、サークルを把握しえないし、それに対する必然性を欠いている。したがってその必然性へいたるまでの各部員のプロセス、途中の段階として、各個人の表現というものをみつめてゆく。具体的には作品を展示してゆくということで、調布祭に参加してゆく。展示自体も各部員の作品を個別的にして、その表現者自身の問題を見つめられるよ

うにしたいと考えている。私(部長)としては、この調布祭も自分達のサークルの立て直しの一連の動きの中で規定している。従ってこれに参加してゆくのは、これから組立てていくサークルにとって必要な日常生活の一環であると考えている。又、この中でモデル撮影会も今迄の様な形式でなく、「モデルといかにかわっていくか」といったことをも含めて新しい形式をつくっていかうと思っている。

サイクリングクラブ

今年は、去年と趣を変え、クラブ員全員が自由に、又、気軽に参加出来るように、模擬店を行なうことにした。しかし、私達が目標としているサイクリングの普及、あるいは、クラブ員全員がサイクリングを通じて、自己の完成を目指す主体的な行動をその中へ織りこむことをある程度、考慮したいと思っている。

美術部

絵画の目的性上、絵画を通して、自己の内部の問題や社会問題を社会にアピールする。(コミュニケーションを果たす。)又、同時に、それによって自己の内面的諸要素(情感、独創性等)の自己完結をめざす。

[内容]

油絵、石膏デッサン、水彩画の展示

スキー部

新入生、他校、他クラブとの親善を深める。部昇格の新たな意気込みで、この期にスキー部の大躍進を期したい!



2 P 有志

本学においての女子の価値は非常に大なるもので、我等 2 P 有志は、調布祭というカンバンを前にかかげて、他校の女子を調布祭に招き、大いに、平素のフラストレーションを解決しようと思ひ、この模擬喫茶店をやらかそうと思つてゐる。

これから、その目的、内容を察してもらいたいと思ひます。

グリークラブ

演奏会を通して、グリークラブの活動を学校内外の人々に発表する。

高橋和巳研究会

我々は、高橋氏の苦悩と陣痛により生まれた作品の中で、高橋氏が何を言わんとしているかを、調布祭に来た諸氏と共に探究することを目的として行ふ。

3 C 有志

生バンド(フォーク etc)の演奏を主体とした喫茶店。他大学よりバンド招待。

オーケストラ

室内楽を主体として演奏会をかねた喫茶店。学生の生演奏、日頃の練習成果を定演とは別に気軽に聞いてもらいたい。

それによって少しでも音楽に興味をもつた者と接し、オケの一員として招へいしたい。

[内容]

弦楽四重奏、デュエット、トリオ、ソロ、フルート、ホルン、オーボエ、ギター etc

オケのメンバーのできるだけ多数参加。その間はレコード鑑賞。

英語放送研究会

英語の中で、最もやさしいのは放送に使われている英語です。新聞・雑誌と違って、読み返しのできない放送では、複雑な構造の文章や難しい単語を使いません。

明瞭に誰にでもわかる英語—それが放送英語です。私達は高速度で話される英語放送を聞いて楽しめます。また放送のための原稿の書き方、原稿の読み方についても研究します。

英語放送を“聞いて理解する”ことは、非常に難しいと思われるかもしれませんが。しかし私達は6年間以上英語を勉強しているので、容易に短期間でだいたいの意味がわかるようになります。

アナウンサーは通常1分間に150~200語位のスピードで原稿を読みます。けれども、高速度でも聴取者にわかりやすく読むための訓練を受けているアナウンサーの英語は、普通の人よりはるかに聞きやすくなります。

英語に限らず、放送を聞くことのおもしろさは、番組自体のおもしろさの他に、アナウンサーの声、話す速さ、話し方にもあります。優秀なアナウンサーの話す英語は、意味がわからなくても楽しむことができます。聴取者を飽きさせてしまうようでは、アナウンサーとして失格です。

さて、調布祭では、英語放送の代表であるニュース・ドラマ・ディスクジョッキー番組をお聞かせします。

ニュースは美声と個性ある話し方をもつ数人のアナウンサーの声で聞いていただきます。ドラマは25分間の喜劇です。内容がわかると30秒に1回位の割合で笑えます。ディスクジョッキーは音楽の間にニュースが入ります。

番組を聞いただけでは、どんな事を言っているのかわからないかもしれないので、それぞれの番組の原稿を用意しています。英語放送がどんなものであるかわかっていただけると思ひます。

アナキズム研究会

古代より日本の権力者は常にその支配地域を広め、権力機構を強化せんと画策をくり返して来た。これに対しサノオノミコトにその片鱗をみる如く、権力発生期と共に叛逆者は多数になり少数になりながら飽くことなき叛逆を反報して来た。その濁流は階級を越えながら日本の歴史を渦巻き流れて来た。

地球上の各地において、この濁流は権力を震え上らせながら歴史をゆさぶりながら激しき流れを展開し、人々を燃え上らせて来た。

アナキズムとは人間性と自由、平等を追求するヒューマニズムと民衆と叛逆が結合した革命の思想である。アナキズムは叛逆の歴史の経験より全ての権力と権力主義を否定し、国家を否定し、政治を否定し、無定形流動を主張する。思想の発生源がフランスだろうがロシアであろうが世界的な思想として各地に根付き発展して来た真に民衆の側の思想である。

現在日本国家はその権力を強化し続けている。それがブルジョワの経済権力拡張だろうと民衆搾取の強化だろうと、権力者がたくらんでいることの犠牲として、日本民衆の人間性が無視され生命活動が脅かされ、現権力と敵対する者への弾圧が激しくなっていく過程と一体化していることは事実である。

国家権力機構が露骨に強化されている時こそ国家権力が衰弱しているか崩壊の急機に立たされている時なのである。今こそ権力の圧迫をハネ返し、革命への新たな戦いの構築の時なのである。然しながら民衆叛逆のエネルギーが秩序派、マルキスト等により浪費されたり、誤まてる方向へ向けられている現状が我々の前に在る。またサディスティックな支配欲、権力欲とマゾイスティックな被支配意識が氾濫し、自立せる人間が窒息せる状況が全社会的に作り出されている。

かかる状況の内では強烈なる戦いを期待されるアナキズム戦線は混迷状態を脱し得ていない。アナキズム、マルキシズムの粋を飛び越えんと自称し、アナキストにもマルキストにもなり得ず、現秩序維持派

のようにさえ思える行動により自己の思想さえ裏切る大沢正道と、その一派に属するインチキゲンチア等の経文にかぶれマルキストの一セクトでもあるかのように組織、発言、活動しているCSLを始め、混迷を誇るかのようにペ平連チックに運動を展開する自由連合、理論深化なしに単純ゲバルトに明け暮れる種々の集団等、各団体各個人に問題は山積している。また全国的傾向として様々な集団、個人が孤立していることもアナキズム運動の発展の支障となっている。

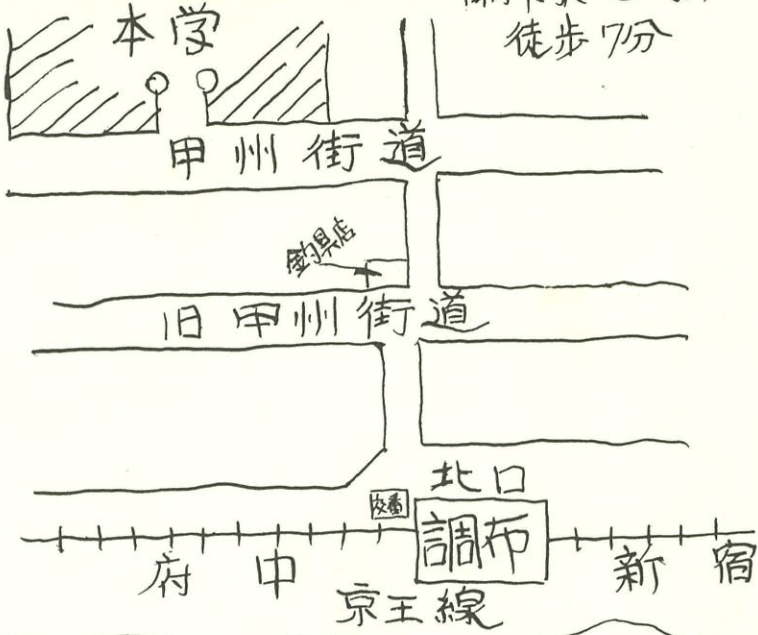
かかる状況の中で、電通大アナキズム研究会(準)は発足した。現在の個別内面的解決、個別理論深化アナキズム運動論の追求へと向いつつある。その一環として調布祭期間中数々の闘争経験、投獄経験を積み重ねて来たアナキスト大島英三郎氏(65才)と局面打開を計るアナキスト団体、ネビース社、ギロチン社等を迎え、現在におけるアナキズムの課題とその方向性等を討論せんとするものである。

第三文明研究会

?マークで始まる大学生生活ははたして我々に何を教えてくれるであろうか、又我々は何を学んできたであろうか。考えることの好きな人間はwhatを連発し、体制を告発し、政治を糾弾していく。利口な人間は単位をうまく手中に収めながらマージャンに打ち興じる。まじめな人間は参考書を枕にしながら4年間を無事に卒業してゆく。バイトをしながら大学生活を楽しく過ごしている人間もいる。そこには様々な人間があり、生活があり、悩みがあり、悦びがある。しかしその底流に流れる基盤とは何であろうか(この点では私は一番最初の類に属する人間かもしれん。)それを思想・哲学の次元にまで高め、さらにその思想を実践の中で宣揚していこうという一人一人が我々第三文明研究会員なのである。我々は原体験、生活体験を実感する中に自己の言葉を見出し、この暗々たる未来に向かってそれらを放つのである。第三文明とは何か、自己の言葉とは、思想とは・これで表紙の部を終る。ページをめくるのは君だ。

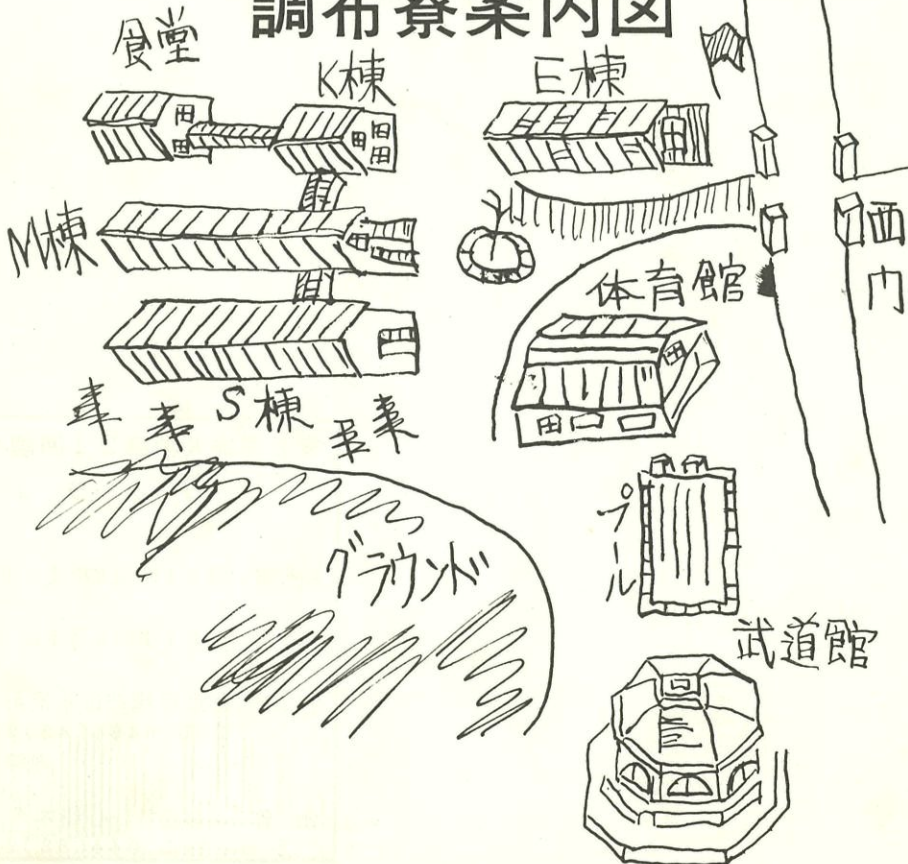
交通案内図

調布駅北口より
徒歩7分



バス(三ツ丁調布) 電通大前
吉祥寺

調布寮案内図



*****MEMO*****

電気通信大学第21回調布祭
プログラム

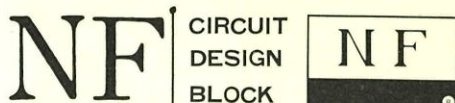
発行者 第21回調布祭実行委員会

発行日 1971年6月4日

住所 東京都調布市小島町14
TEL 0424(83)2161
内線558

制作 有限会社 心翔スタッフ
TEL 044(62)2083

PRECISION ACTIVE FILTER



種類.....

- ハイパス・フィルタユニット
- ローパス・フィルタユニット
- バンドパス・フィルタユニット
- バンドエリミネーションフィルタユニット

●遮断周波数は当社規定の範囲内において自由に御指定いただけます。

株式会社 エヌエフ回路設計ブロック

東京都大田区山王 4 - 18 - 11

☎ (03) 775-0411 〒143

Belcom で飛躍する

Belcom introducing
Latest Technology in New Single Side Band
Sky-Rocketing "KAPPA 8" Base-Model

主要営業品目
各種無線通信機器
各種電子機器
輸出用小型通信機
アマチュア機器、その他



日本電業株式会社

本社・工場 東京都板橋区加賀1丁目4番10号 ☎173 電話 東京 03 (962) 7001・7002 番
 神戸営業所 神戸市 生田区明石町32番地 (明海ビル) ☎650 電話 神戸 078 (33) 5154・7320 番
 熊谷工場 埼玉県大里郡大里村大字中曽根1376番地 ☎360-01 電話 熊谷 0485 (36) 0531 番

電子応用測定器

電子計算機

電子卓上計算機



医療機器

化学分析機器

横河・ヒューレット・パッカー株式会社

本社工場：〒192 東京都八王子市高倉町9番1号
 TEL: 0426-42-1231 (大代表)



電気通信機器製造

電報自動交換装置

印刷電信操作装置

電子符号変換装置

継電器各種類

千代田電機株式会社

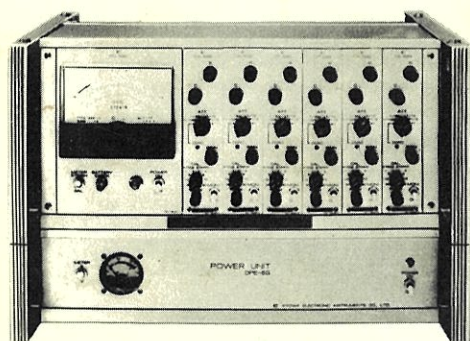
東京都大田区田園調布 1 - 1

代表取締役社長 星 沢 基

電話 (721)6136(代)-9 6130・7136(代)-9

未来をひらく電子計測器メーカー

日本で最大のシェアをもつ
トランジスタ式動的ひずみ測
定器DPM型



(DPM-6G)

 株式会社 **共和電業**

本社・工場 東京都調布市下布田町 1219 〒182
電話 東京調布 (0424)(83)5101 (代)
営業所 東京・大阪・名古屋・福岡
広島・札幌

安全航行が当社の願い!!

レーダー干渉波除去装置 **SYRAM**

◆一般仕様◆

- (1) 作動範囲は、近距離の時は約8浬、遠路離の時は約30浬で、それぞれ中心から作用するが、その巾のまま移動させることも可能である。例えば、10浬の位置から40浬までの間をデフルーツできる。
- (2) 電波の質には全く影響を与えず、距離・方位にも誤差を生じない。
- (3) 消費電力はAC 100Vで約38VA。
- (4) ダイオード、トランジスター、MOSIC等使用。
- (5) 配線は75Ω高周波ケーブルで、トリガー、ビデオライン各2本およびAC、リーレー各2本とアース1本の計9本。
- (6) トリガー、ビデオシグナルの各特性を合わせれば、大体各種レーダーに使用可能である。

営業品目

各種無線送信機、受信機
各種レーダー、
エンジンアナライザー



協立電波株式会社

本社 〒153 東京都目黒区上目黒1-3-13 TEL (03) 712-3111
八王子工場 〒192 東京都八王子市石川町 2968-3 TEL (0426) 42-9211
支店・営業所 神戸・横浜・玉野・下関・福山